

令和5年度日本小児外科学会  
第4回定例理事会議事録

日 時：令和 5 年 9 月 26 日（火）11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+WEB

出席者：小野 滋（理事長）、家入里志（副理事長）、尾花和子、加治 建、田中秀明、平林 健、瀧本康史、米田光宏（以上理事）、照井慶太（庶務委員長）、田中奈々（庶務副委員長）、山田洋平（財務会計副委員長）、柴田晶子（以上事務局）

出席者（WEB）：

田尻達郎（理事・会長）、浮山越史（理事・次期会長）、石橋広樹、内田広夫、（以上理事）、奥山宏臣、越永従道（以上監事）、松浦俊治（庶務委員）、上原 秀一郎（財務会計委員長）、岡島英明（専門医認定委員会委員長）、木下義晶（施設認定委員会委員長）、古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）、臼井規朗（第 39 回秋季シンポジウム会長）、田中 潔（第 40 回秋季シンポジウム会長）、大植孝治（第 41 回秋季シンポジウム会長）

議事案件：

議 事：

1. 第4回定例理事会の議事録署名人は、米田 光宏理事・加治 建理事とした。
2. 令和5年度第3回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第61回学術集会について（田尻会長）

田尻会長より、資料に基づき準備状況が報告提案され、以下のように承認された。

拡大プログラム懇親会について、名誉会員・特別会員は招待とし、評議員は評議員会出欠と併せて拡大プログラム懇親会出欠を確認すること、懇親会出席者はクレジット決済で事前に参加費を支払っていただくことが承認された。

トラベルグラントの募集方法について、第61回運営事務局から第60回運営事務局に問い合わせてもらったことが確認された。

倫理手続きの案内のページについて、石橋広樹研究倫理委員会担当理事に確認が依頼され、了承された。

優秀ビデオ選出の手順について確認された。

2) 第62回学術集会について（浮山次期会長）

浮山次期会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

日本小児救急医学会とのジョイントセッションについて、平林 健小児救急検討委員会担当理事に協力が依頼され、了承された。

会 期：2025年6 月5 日(木)～6 月 7 日(土)

会 場：一橋大学一橋講堂 〒101-8439 千代田区一ツ橋2-1-2

テーマ：眞・善・美～きみの想いを子どもたちのために～

開催形式：現地開催+ライブ配信

3) 第 39 回秋季シンポジウムについて（臼井秋季シンポジウム会長）

臼井次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

講演会場はライブ配信するが、議論は現地のみで可能となることが報告された。

日時：2023 年 10 月 28 日（土）

会場：九州大学百年講堂

テーマ：小児外科領域における感染症対策

4) 第 40 回秋季シンポジウムについて（田中潔次期秋季シンポジウム会長）

田中次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

田尻会長より、第 61 回学術集会と秋季シンポジウムで連続性を持たせると良いのではないかとの提案があり、情報共有していくこととなった。

日時：令和 6 年 10 月 26 日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

開催形式：現地開催+ライブ配信（予定）

5) 第 41 回秋季シンポジウムについて（大植次々期秋季シンポジウム会長）

大植次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告された。

日時：令和 7 年 11 月 1 日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2023 年 8 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,659 名（うち海外 2 名）、評議員 284 名、準会員 27 名、名誉会員 54 名（うち海外 8 名）、特別会員 68 名（うち海外 1 名）、賛助会員 1 団体の合計 2,092 名+1 団体である。

特別会員 沖永 功太先生の訃報については、機関誌委員会から小川 富雄先生にお願いすることが承認された。

理事会で使用している Google ドライブの運用方法について、追加資料フォルダを廃止し、資料提出後切後に提出される資料は、委員会フォルダにアップロード後、その旨を理事会メンバーリストで報告することが承認された。

委員会活動継続性のための仕組みとして、Google ドライブに各委員会でフォルダを作成し、担当理事が委員会フォルダに重要と思われる資料をアップロードしていくことが承認

された。

他学会における外部委員の規約についての調査結果が報告された。

外部委員の規約について定款記載例に基づいて文案を作成することが確認された。

倫理と法律の専門家である外部委員としての顧問について、他学会の事例なども踏まえて議論がなされ、学会として顧問（外部委員）をお願いすること、また委員会出席や相談の際に費用が発生する場合、都度払いで依頼することが承認された。なお、今後、相談や会議出席が増えていくようであれば都度払いから年払いに変更をお願いすることが承認された。

## （２）財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

## （３）専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

木下施設認定委員会委員長から、資料に基づき施設認定委員会について報告された。

岡島専門医認定委員会委員長から、資料に基づき専門医制度委員会について報告された。8月29日に開催された第1回 機構認定サブスペシャリティ領域懇談会について報告された。

日本小児外科学会専門医制度規則の第1章 申請に必要な臨床実績と学術経験 第1条（指導医） 2. の「高位鎖肛」を『中間位・高位鎖肛』と変更することが承認された。

2023年度から新専門医制度が開始すると考えて今年の専門医制度の受験を見送った会員が大勢いるが、現在のところ新専門医制度が開始する気配がないため、学会として受験を見送った会員を救済していく姿勢を見せることが必要との確認がなされた。

## （４）機関誌委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告がなされた。

査読者用と簡易版の査読手引き文書の記載の齟齬について、簡易版を「原則2回目以降の新たな指摘はしない」という文面に変更して統一することが報告された。

大阪市立総合医療センター小児泌尿器科 石井啓一先生に、第60回学術集会でのご講演内容「ロボット支援下手術による、小児泌尿器疾患に対する治療について」の総説の執筆を依頼することが報告された。

MEDLINE シリーズで医学分野の情報検索ツールである EBSCO Japan より、小児外科学会雑誌を検索対象雑誌として収録してはどうかとの提案があり、検討した結果、導入に際して特別な費用や労力は発生せず、J-Stage から自動的に EBSCO データベースに転用されるところことから、今後、EBSCO 収録の方向で手続きを進めることが報告された。

オンライン投稿・査読システム導入について、機関誌委員会で前向きに検討していることが報告され、導入の是非について理事会での審議が求められた。導入した場合の初期費用10万円程、メンテナンス費用は年間9万円程が見込まれることが報告された。査読者をマネージメントするマネージングエディターの必要性が指摘され、現在編集をお願いしている中西印刷に、すでにその役割を担っている方がいることが報告された。オンライン投稿・査読システム導入について継続して審議していくことが承認された。

(5) 国際・広報委員会 (瀧本担当理事)

瀧本担当理事より、資料に基づき報告された。

学会HPを活用しやすくするため、日本語HPのページの名称変更、階層修正、掲載内容の見直しやページの統合などを行い、HPを整理することが報告された。

英語のページについて、歴代理事/会長/秋季シンポジウム大会長などを確認し、最終調整に向かっていることが報告された。

平林小児救急検討委員会担当理事より、HPに掲載されている小児外科の救急施設を一般の方に見つけやすくしてほしいとの希望が述べられ、了承された。具体的な掲載場所や名称等については、平林理事の方で検討し、国際・広報委員会に依頼することとなった。

(6) 保険診療委員会 (尾花担当理事)

尾花担当理事より、資料に基づき報告がなされた。

8月29日に開催された第1回保険診療委員会について報告された。

日本外科学会保険診療委員会より、供給停止予定品目調査(医薬品、医療材料)のアンケート依頼があり、メール審議にて当学会として問題のないことを確認、報告したことが報告された。

日本外科学会保険診療委員会より、注射用水および生理食塩水についての要望書作成に関する持ち回り委員会の連絡があり、メール審議にて当学会として問題のないことを確認、報告したことが報告された。

外保連の委員変更について報告された。

日本小児外科学会選出の外科学会保険診療委員の人数変更について報告された。令和2年(2020年)7月に外科学会保険診療委員会から

さて、従来より、本会の保険診療委員会委員を選定するにあたり、貴学会に該当領域の委員の推薦者2名をご依頼しておりましたが、この度、外保連活動との重複を避けるために、当該領域1名体制として活動を縮小することになりましたため、今期より、貴学会から委員の推薦をご依頼しないことをご報告申し上げます。

との通知があったが、その情報が引き継がれていなかったことが報告された。外科学会の委員が交代する令和6年(2024年)までは、前保険診療委員会担当理事の浮山先生に外科学会保険診療委員を継続していただくことが報告された。

(7) 教育委員会 (内田担当理事)

内田担当理事より、資料に基づき報告された。

卒後教育セミナーについて、令和5年(2023年)は7月末に開催したが、委員会の移行期のタイミングであり、前任委員に負担がかかるため、令和6年(2024年)は6月30日曜日とするが、令和7年(2025年)は平行して準備を進め1月13日月曜日に開催を検討していることが報告され、承認された。

サマースクールについて、令和5年(2023年)は150万ほどかかったため、令和6年

(2024年)は臓器を購入するなどして予算を抑えた形で開催を検討していることが報告され、来年のサマースクール開催の基本方針が承認された。小児外科学会がサマースクールを開催していることを大学などに周知するため、HPに掲載するポスターを作成することになった。

教育委員会の予算でハードディスクを購入し、事務局で映像資料を保存することが承認された。

資料に基づき、7月30日に開催された第38回卒後教育セミナー、第14回小児内視鏡外科手術セミナー、10月27日開催予定の第15回小児内視鏡外科手術セミナー、8月5日に開催されたサマースクールについて報告された。

資料に基づき、日本外科学会プラットフォームを利用したE-learning立ち上げの準備状況について報告された。

#### (8) 悪性腫瘍委員会 (平林担当理事)

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

フロッピーディスクやMOなどに保存された過去のデータを読み込むため、古いハードディスクを購入することが承認された。

アーカイブ化終了後の資料を破棄する際の溶解処分費用等については学会が支出することが承認された。

前委員会と引継ぎのためのミーティングを行ったことが報告された。

各種データを現委員会へ移動することが報告された。

デジタルアーカイブ化がどの程度可能か検討し、次回または次々回理事会で報告する予定であることが報告された。

#### (9) 学術・先進医療検討委員会 (米田担当理事)

米田担当理事より、資料に基づき報告された。

「胆道閉鎖症診療ガイドライン活用アンケート調査」について、承認された。全国登録については確認の上、改めて審議することとなった。

9月14日第1回学術・先進医療検討委員会が開催されたことが報告された。

優秀ビデオ受賞者の賞状を作成し、秋季シンポジウムで表彰することが承認された。

#### (10) 倫理・医療安全管理委員会 (石橋担当理事)

石橋担当理事より、第61回学術集会の講習会の講師を選定中であることが報告された。

小野理事長から、令和2年(2020年)に行われた事故調査の協力についてのアンケートについて継続しているのかとの質問があり、当時の理事長だった田尻会長より、このアンケートは何年ごとに行うというわけではなく、外部から理事長に依頼があり、理事長が承諾して評議員にアンケート協力を依頼したとの説明がなされた。小野理事長から、事故調査に協力して意見を述べた場合の責任の所在について問い合わせがあったことが報告され、個人の責任とはならないこと、学会を代表した意見ではないことが確認された。田尻会長から、事故調査の協力についてのアンケートは新理事会発足毎に実施した方が良いのではないかと提案があり、倫理・医療安全管理委員会でアンケート実施に向けて検討することとなっ

た。

(11) データベース委員会（田中秀明担当理事）

田中担当理事より、資料に基づき報告された。

9月5日、第1回データベース委員会が開催されたことが報告された。

小児外科学会では初の前向き研究である「先天性胆道拡張症におけるロボット支援手術の有用性及び安全性評価」の研究計画書が提出され、審議を開始したことが報告された。

日本外科学会のNCD臨床研究推進委員会より「NCDデータを利用した複数領域にまたがる新規研究課題の公募について」の周知依頼があり、HP掲載、メール配信で会員にアナウンスしたことが報告された。タイトな日程での依頼だったため、

- ・募集要項周知（HP更新、メール配信）：9/19、9/20
- ・募集期間：9/23-10/3（案内から2wks）
- ・委員会審議：10/4-10/24（3wks）
- ・理事会メール審議：10/27-11/3（1wk）
- ・外科学会締切（各学会から）11/10（金）

というスケジュールで進めていくことが報告された。

2021年度に承認されたNCD研究の申請者より、「医籍番号を紐づけIDとして、小児外科学会員一人一人の卒業年度、専門医かどうか、指導医かどうか」のデータを利用したいため、学会からリストをNCDに提供してほしいとの要請があったことが報告され、理事会で修正の可否を判断するか、修正について研究倫理委員会に再審査を依頼するか等について審議した。理事会で承認した最初の研究計画書には医籍番号等については記載がなかった、ここまで細かいデータを要請するのであれば別の研究計画になるのではないかと、といった指摘があり、理事会としてこの修正は認められないと議決した。改めて研究計画書が提出された場合は、通常通り研究倫理委員会、データベース委員会で審査を行うことが確認された。

(12) 小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より、資料に基づき報告された。

令和6年度（2024年度）のPALS講習会を9月22-23日に開催することが承認された。

前委員会との引継ぎミーティング、第1回小児救急検討委員会を開催したことが報告された。

9月17-18日に日本ACLS協会の東京トレーニングラボにて開催されたPALS講習会について報告された。

9月29日11時ごろより開催予定の内閣府主催防災訓練について報告された。

10月1日開催予定の小児救急連絡協議会に平林理事が出席予定であることが報告された。

外科系小児救急患者受け入れ状況について、2022年度アンケート回収済み、2023年春にホームページ内容を更新済であることが報告された。

2022年度までの門田班研究の報告について、宮城前委員長が学会誌へ投稿したことが報告された。

外科系小児救急患者受け入れ状況について、隔年で認定施設のみにアンケート調査を行っているが回収率は極めて悪いことが報告され、教育関連施設にも直接調査を行いたいと

の希望が述べられ、承認された。

10月4日〆切の門田班研究のアンケート調査は学術・先進医療検討委員会承認後、理事会でメール審議することが承認された。

(13) トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、アンケートについて質問があり、委員会活動の中で行うアンケートは学術・先進医療検討委員会で審議しなくて良いことが確認された。

(14) ワークライフバランス検討委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、資料に基づき報告がなされた。

9月4日に開催されたワーク・ライフ・バランス検討委員会について活動方針を審議したことが報告された。その際、学会HPに求人に関する掲示板を設置してはどうかとの意見が出たことが報告され、委員会で実現可能かどうかを含めて継続審議していくこととなった。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、資料に基づき報告がなされた。

第4回理事会で、外部委員を顧問（外部委員）に統一して、委員会規則の記載を変更もしくは追加すると決定したことを受けて、外部委員について記載があった倫理・医療安全管理委員会と研究倫理委員会の委員会規則を顧問（外部委員）に変更したことが報告された。利益相反委員会は元々外部委員の記載がなかったので、顧問（外部委員）を追加したことが報告された。学会全体の顧問として規約を整備していくことが承認された。

各委員会の委員に加えて、顧問や補佐として委員会の事業に精通している方や手伝っていただく方の設置状況について確認したことが報告された。

顧問の追加を希望されている委員会：悪性腫瘍委員会、小児救急検討委員会、医薬品・医療機器検討委員会

補佐の追加を希望されている委員会：ワーク・ライフ・バランス検討委員会、トランジション検討委員会、ガイドライン委員会

顧問（外部委員）の追加を希望されている委員会：国際・広報委員会、NCD連絡委員会

顧問と補佐がすでに設置されているが委員会規則に記載がなかった委員会について、委員会規則に追加したことが報告された。規約委員会規則に元々記載されていた外部委員については削除したことが報告された。

顧問（外部委員）の追加希望があった国際・広報委員会とNCD連絡委員会については、渕本担当理事が再確認することとなった。

顧問という名称が混在すると混乱するのではないかとの指摘があり、顧問（外部委員）は学会としてお願いする外部の先生、とすることが確認された。

悪性腫瘍委員会から、地区センター幹事は学会での腫瘍登録事業の終了に伴い現在は居ないため、第4条(3)は削除したいとの希望があり、該当箇所が委員会規則から削除されたことが報告された。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に審議事項がない旨が述べられた。

(17) NCD 連絡委員会（淵本担当理事）

淵本担当理事より、資料に基づき報告された。

長期フォローアップ WG について、NCD連絡委員会で担当することなのか、学会主導ではないか、という意見があり、休止・解散することが報告された。

小児外科疾患の長期フォローアップを学会で取り組むのであればどこの委員会が担当するのか、**理事長より総合調整委員会への諮問事案として継続審議することとなった。**

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より、資料に基づき報告された。

ガイドラインの著作権収入について、事務局で確認して報告することとなった。

(19) 利益相反委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、顧問（外部委員）は学会として依頼するため、委員会として個別に外部委員の要請は行わないことが確認された。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、資料に基づき報告された。

イントラリポス及びミキシッドの添付文書の禁忌の項の改訂について、独立行政法人医薬品医療機器総合機構 医薬品安全対策第一部 および 日本小児科学会 より小児外科学会としての意見を求められたことが報告され、小児外科学会として、禁忌となった場合、静脈栄養に依存した患者が食物アレルギーを有すると、代替薬がないので必須脂肪酸の補給ができないことになるため、禁忌ではなく‘慎重投与’を求めることが承認された。

小児外科領域における小容量注射剤と小児用高カロリー輸液用基本液の必要性について、輸液製剤協議会、大塚製薬工場より、不採算算定の薬価改定に向けて、小児外科学会から厚労省への医療上の必要性に関する意見書の提出依頼があったことが報告された。医薬品・医療機器検討委員会で、いずれも小児外科診療にとって重要な医薬品であることを確認したことが報告され、意見書を提出することが承認された。

小児外科では低浸透圧性非イオン性ヨード系造影剤による消化管造影剤を診断、治療で用いることがあるが保険適応外である。適応外使用の保険適応について、どのように進めるべきか、その方法論に関して和田顧問が交流のある小児科学会薬事委員会（中村委員長）に問い合わせを頂けることになったことが報告され、承認された。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入副理事長）

家入副理事長より、委員会規則を整備していることが報告された。

(22) 総合調整委員会（家入委員長）

家入委員長より、資料に基づき報告された。



(23) 日本外科学会理事会（田尻前々理事長）

田尻会長より、9月4日に開催された理事会について報告された。

学会発表の倫理指針について、2024年の夏から外科学会では医学会連合の出した新しい指針に変わる予定であることが報告され、小児外科学会も変わることが予想されると述べられた。

(24) 四者協関連（小野理事長）

小野理事長より、厚生労働省にワイドシリン出荷調整に関する要望書が提出されたことが報告された。

7) 小児麻酔学会からの委嘱評議員推薦依頼（小野理事長）

小野理事長より、小児麻酔学会からの委嘱評議員推薦依頼について報告された。「他学会からの委嘱評議員に関する理事会内規」に

4. 日本小児麻酔学会からの委嘱評議員（任期3年）に関しては、以下のように選任する。

(1) 2012年1月から2014年12月までの任期の2名を、2011年年末の日本小児麻酔学会からの依頼に応じて選出する。その後は3年ごとに、依頼に応じて2名を選出する。

(2) 選出方法は、その際の理事会構成メンバーから任期を全うできる理事2名を互選により選出する。

と定められていることを受けて、審議の結果、小野滋理事長、家入里志副理事長を委嘱評議員として小児麻酔学会に推薦することとなった。

## 1. 報告事項

### 1) 理事長報告（小野理事長）

(1) 令和5年度第3回メール審議：第59回日本小児外科学会秋季シンポジウムについて議決した。

(2) 令和5年度第4回メール審議：インドシアニングリーンの安定供給に関する要望について議決した。

(3) 要望書『特別支援学校の「子どものための指定福祉避難所」施設整備と指定・公示促進に関するお願い』について報告された。

(4) 日本内視鏡外科学会 eラーニングサイトの掲載について報告された。

(5) 外科学会アンケートについて報告された。

(6) NCD 社員総会・みなし決議の議事録について報告された。

(7) 日本ペインクリニック学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。

(8) 日本小児看護学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。

(9) 日本小児泌尿器科学会からの通信文「理事長就任の挨拶」を受領した。

(10) 日本産科婦人科学会からの通信文「事務局移転のお知らせ」を受領した。

(11) 日本医師会からの通信文「2023年度日本医師会医学賞ならびに医学研究奨励賞受

賞者決定の報告について」を受領した。

(12) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌」を受領した。

(13) 日本の医療の未来を考える会からの寄贈本「集中 8 月号・9 月号」を受領した。

(14) 外科系学会社会保険委員会連合からの寄贈本「社会保険診療報酬に関する改正要望書 (CD-ROM)」を受領した。

(15) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.403」を受領した。

(16) 日本がん治療認定医機構の寄贈本「がん治療認定医教育セミナーテキスト 第 17 版」を受領した。

(17) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER 9 月号」を受領した。

(18) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「2022 年度事業実績報告書」を受領した。

(19) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報 No.65・会員ニュース No.76」を受領した。

(20) 日本医学会からの寄贈本「分科会一覧」を受領した。

## 2) 次回定例理事会日程の確認 (小野理事長)

次回定例理事会は令和 5 年 10 月 25 日(水)11:00~14:00 九州大学百年講堂 会議室 1 にて開催することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_